

回 答 書

受付番号	回収年月日	回収場所	担当主管課
第3号	令和3年7月6日	伊予市役所	子育て支援課
題 目（テーマ）： 伊予市内の小児科について			
提 案 理 由（要旨）			
<p>伊予市内の小児科専門の医院は宇山小児科さんだけの状態ですが、当医院は8月で閉院されると聞きました。これで伊予市内の小児科専門医院はなくなり、一番近い小児科専門医院は松前町のむかいだ小児科さんになります。子どもが保育園で熱を出したとき、伊予市病児・病後児保育室のお迎えサービスを利用させてもらったことがあります。対象医院は宇山小児科さんだけだったと思います。</p> <p>公園や児童館が多く子ども医療費助成の見直しもあり、伊予市は子育てするのに適した土地であり、安心して子育てできる地域だと思えます。造成地も増え、子育て世代もどんどん増えると思うので、子どもの医療体制の充実は喫緊の課題だと感じています。</p> <p>即座の対応は難しい問題だと思いますが、大洲市では小児科誘致へ上限3,000万円の補助金交付をされ、実際に小児科開院に至った事例もあります。伊予市でも同様の取組により、小児科医院確保を目指してはどうかと思えます。</p>			
回 答 内 容			
<p>日頃から、本市の子育て支援策に関し、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。</p> <p>本市において、安定的な医療サービスを提供することは、安心して住み続けていただく上で重要な要素ではありますが、その中でも、ご意見を賜りました小児科医につきましては、子育て支援において、特に重要な役割を担っていると認識しております。</p> <p>しかしながら、小児科医院確保につきましては、全国的に医師不足や高齢化が進行している中で、既存医療機関の意向、厳しい財政状況等を鑑み慎重に検討する必要があります。</p> <p>なお、今後とも医師会や関係機関との密な連携と情報収集に努め、本市の子育て支援に活かしてまいりたいと考えております。まずは、現在の松山医療圏域における医療機関との連携強化をもって対応してまいりたいと考えております。病児・病後児保育室のお迎えサービスについては、宇山小児科の外に伊予病院と稲田内科が連携医療機関となっており、今後も利用可能となっておりますので、ご理解を賜ります様お願い申し上げます。</p>			